

中体連新人総合体育大会

バスケットボール部 試合結果

〈男子〉	
石垣 77	船浦・大原 22
伊原間・大浜 93	船浦・大原 26
船浦・大原 56	石垣第二 49
〈女子〉	
石垣 50	船浦・大原 41
石垣第二 69	船浦・大原 37
船浦・大原 55	大浜 43



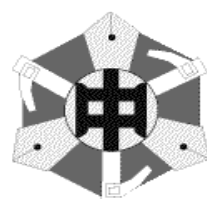
12月11、12日の両日、石垣第二中学校体育館で新人大会が開かれました。2日目の第3戦では、手に汗握る接戦を制し、男女共に新チーム初の勝ち星をあげることができました。課題のスタミナ不足を感じさせず、少数精鋭で見事勝利!! 感動と元気、笑顔をありがとう!!

発行

12月 第23号

船浦中学校

校長 宮城裕子



卓球部 団体戦 2位

12月18日、石垣市総合体育館サブアリーナで新人卓球大会が開かれました。個人戦は、会場到

着早々試合開始となり、なかなか実力を発揮できず、各自振るいませんでしたが、徐々に動きがよくなり、その後の団体戦では総力戦で見事準優勝を手に入れました。1年生のダブルスは優勝校から唯一勝利!!を勝ち取りました。…来年の夏季大会での活躍が楽しみです。バスケットボール部、卓球部の試合観戦・応援にかけつけてくださった保護者・関係者のご声援ありがとうございました。



ブラックポット販売委託



↓スーパー八重さん



←ゆりみなさん ↑なかゆくいさん

↑美々さん

12月13日(月)にブラックポットの委託販売のため、保護者や地域のみなさんに【ご協力依頼】として、営業活動を行ってきました。事前に予約をいれて、訪問した所もありますし、ほとんど飛び込みでお伺いしたところもあります。委託料の交渉や販売広告についての打ち合わせ等、ご協力ありがとうございました。

第2回互見授業実施中



数学 授業者；田内智也先生

学校だより「沃野」第21号でご紹介した互見授業継続中です。12月10日(月)1校時に2学年の数学で実施しました。コーディネーターの田内先生が授業者で【第5章 三角形と四角形】の単元内容に挑戦!!



2年生が授業に没頭する様子は成長が感じられます。**一生懸命**さは頼もしく、学校生活全般に現れています。

家庭学習強化月間



2学期定期テスト対策で行った家庭学習の取組状況のお知らせ!!

チーム表彰

1位 太宰府 254P 2位 モンチッチ 226P 3位 一步一步 200P

個人表彰

1位 東浜旦昂 86P 2位 本原 怜 85P 3位 國岡 玉那 79P

◎12月7日に第回スピーチ集会での晴杜さんのスピーチ原稿です。ご一読ください。

スピーチ集会

「絶滅した生き物たち」

晴杜さん

僕は本を読み絶滅した生物を知りたいと思い調べてみました。するといろいろな理由で絶滅した生物がたくさんいました。その中で4種類の絶滅した生物を紹介します。まずは、筋肉がムキムキすぎて絶滅したスミロドンです。このスミロドンはマンモスなどの動きがのろい大型獣をねらい前足で押さえつけてから大きい牙で切り裂くという狩をしていたネコの仲間です。足と尻尾が短く首周りの筋肉が発達しました。がっしりとした体型でジャンプや木のぼりは苦手だったようで、大型獣が減びるとすばしっこい獲物を捕らえることができず絶滅してしまったそうです。次は水温がすごく上り絶滅したコノドント動物です。コノドント動物のコノドントはもともと「円すいの形をした歯」という意味で、当時のどの部分の化石が分かりませんでした。その後、それ以外の化石が発掘され、その生物の歯ということがわかりました。コノドントを持っている動物ということでコノドント動物と言います。コノドント動物の体は縦長の魚のようで、目はとび出し、顎はいつでもあぐりしていて、この体で、地球の生物がほとんど滅んだ大絶滅を3回も乗り切った動物です。なぜこんなに生きていたのに4回目で絶滅したのかというと、地球上からマグマが噴き出して気温が上がり、水中の酸素がなくなり息ができなくなり絶滅したそうです。次はネコファミリーに狩り尽くされて絶滅したスティーブンイワサザイです。敵となる哺乳類がいないニュージーランドで進化した結果、飛べなくなった鳥です。人間やネズミがニュージーランドにやってくると滅んでいったが、かろうじて無人島だったスティーブン島では生き残ったそうです。しかし、島に灯台が建設されネコが持ち込まれると、最後の生息地でも絶滅してしまったそうです。ネコがぐわえてきた死体はすぐに新種として記載した。次は暑さにも寒さにも弱く、絶滅したティタノボアです。全長13m、直径1mもあったという史上最大のヘビです。推定体重は1トンを超えており、これは今までの地球で一番重いヘビです。恐竜絶滅後の水辺で大型化し、ワニなどの大型動物を食べる無敵の存在だったと考えられています。ところが大型化しすぎて、体温調整がうまくいかず、30℃～34℃でしか活動できなかったため、気温が高くなると滅びたそうです。実は、絶滅しそうでしなかった日本の生物もあります。それは、生まれたら別の場所にいて助かったクニマスです。クニマスは秋田県の田沢湖にのみ生息する固有種でしたが水力発電所が作られたことで湖の水質が変わってしまい1948年に絶滅してしまったそうです。ところが1930年代に他県の施設に受精卵が贈られていたらしく、西湖で生き延びていることが確認されたのです。発見者は魚類学者の魚クンで、クニマスの絵を描くために似たヒメマスを取り寄せたところ、その中にクニマスが紛れ込んでいたといひます。

このように大体の絶滅は理不尽な環境の変化、ライバルの出現、そして人間のせいです。生き物が絶滅する理由の理不尽な環境の変化やライバルの出現はしょうがないことです。しかし、人間の手によって生物が絶滅するのは防げるはず。クニマスの時のように絶滅しそうな生物をいろんな方法で助けることも可能です。例えば野生生物を保護する。自然を無くしたい環境を変えないなどのことです。これを心がければ絶滅しないで済む生物はたくさんいるはず。しかし今、地球温暖化という人間が出した排気ガスによる環境の変化により、4千種の生物が絶滅しそうです。コアラやホッキョクグマ、ユキヒョウ、トナカイなどです。トナカイが絶滅してしまったらサンタはどうプレゼントを運んでくるのでしょうか。皆さん、クリスマスプレゼントを貰いたい方は、地球温暖化の対策を行いましょう。節電などのちょっとした簡単なことをすれば未来もちょっと変わるはず。しかし、何もしなければ次に絶滅するのは人間かもしれません。